

## ATAC会長就任のご挨拶

一般財団法人 大阪科学技術センター  
ATAC会長 土井 義宏

ATAC (Advanced Technologist Activation Center) は、一般財団法人大阪科学技術センターの創立30周年を記念し、中堅・中小企業振興事業の一環として、1991年4月に設立されました。昨年25周年を迎え、ATACは新たな4半世紀の第一歩を踏み出しましたが、このような節目に当たる年に会長に就任いたしましたことを縁と考え、ATAC及び当センターの発展のために努力いたしたいと考えております。

ATACは名前が表す通り、考え・行動する先端技術コンサルタント集団です。企業OBのグループによる活動が全国的な広がりを見せている中、今でも、この種の活動のモデルであり、先例であると高い評価をいただいております。現在、メンバーは豊富な経験に裏付けされた独自のノウハウを保持する民間企業の技術系OBや事業経営者・管理職OB等20名により構成されております。

活動内容は、主として中堅・中小企業において、それぞれの企業が抱える多種多様な技術や経営の課題に対応し、その企業と一体となり、豊富な知識・経験・人脈を生かし、実践的・具体的にチームを組んで課題解決に当たっております。今日まで約800件にも上るコンサルティング契約を締結し、顧客企業の技術や事業成果につながる実績を挙げております。

平成28年度から始まった第5期科学技術基本計画(平成28年度～平成32年度)は、未来の産業創出と社会変革に向けた新たな価値創出への取り組みの強化が中軸に据えられており、

特に今後は、IoT、AIなど技術の目覚ましい発展により、第4次産業革命や超スマート社会の到来といった産業構造や社会の大きな変化が起ると言われております。

関西圏には、独自のオンリーワン技術を持った中堅・中小企業が沢山存在しモノづくりを支えています。今後予想される大きな産業・社会構造変化に的確に対応し、競争に勝ち残っていかねばなりません。技術開発とモノづくりにおいて、IoT、AIなどの技術を駆使して生産性の向上を図るとともに、異業種を含めた様々な企業と柔軟に連携し、新たなビジネスモデルを構築していくことが大切ではないかと思います。

こうした環境の中、ATACは、高い技術への貢献と企業の社会的責任を念頭に置き、コンサルティング業務、セミナー開催・講師派遣業務、書籍刊行業務等を通じて、ATACメンバーの英知を有効にご活用戴くことにより、関西や日本の産業の基盤である中堅・中小企業の発展に資することを目的として、更なる発展に向けて邁進していく所存であります。皆様方のご支援をよろしくお願い申し上げます。

